

伊深 まちづくり協議会だより

2020.3
NO 79

●今月号の主な内容

- 〔特集〕 2.1 伊深の沖で凧あげ…1
- 2.3 市議会議員と「未来トーク」…2
- 2.13 伊深ごはん研究会 2月の活動…2
- 〔トピックス〕 2.8 伊深小でふるさと学習発表会…3
- 〔参加者募集〕 4.5 桜ウォークほか…3
- 〔協議会の動き〕 2.16 町外研修会・2月定例会…4

伊深まちづくり協議会ホームページ もご覧ください
<http://ibukamachi.com> または 検索



「第5回 伊深の沖で凧をあげよう 凧あげ大会 in 伊深」を開催

-- 引かれる糸の心地よさに夢中 --



▲伊深の空にたくさんの凧が泳ぎ回りました

2.1 (土)、“電柱のない伊深の田んぼで思いっきり凧をあげよう”と、「凧あげ大会 in 伊深」を開催しました。

5年目となる今年は、手ぶらでも参加してもらえるよう、レンタル用の凧も用意したところ、持ち込みの人も含めて約60人と、これまでで一番多くの参加がありました。最初の1時間ほどは風がなく、凧をもってかけ出す姿もありましたが、そのうち適度な風が吹き始め、ほぼ全員が凧に引かれる糸の心地よさに夢中になっていました。

約2時間ほど楽しんだあと、地元産の材料を使った“ぜんざい”のふるまいがあり、参加者たちは冷えた体を温めるように碗を傾けていました。



▲手描きの凧をあげる子もいました

▼参加された皆さん



2.3 (月)、市議会議員と「未来トーク」を実施しました

－ 4つのテーマで自由に討論



2.3 (月)、市議会の議会改革特別委員会メンバーと町内住民とによる「未来トーク」が行われ、地区としての課題について現状や対策を話し合いました。

こうした取り組みは、昨年10月の三和地区に続くもので、まち協委員を含め、約40人が参加

しました。テーマとして取り上げたのは、「空き家対策」、「シニア食堂」、「伊深の観光」、「遊

休農地対策」の4つで、参加者は関心のあるグループに入り、ワークショップ方式で、「現状や課題」「対策」「行政への要望事項」などに分けて色紙に書き出していきました。その後、グループごとに発表が行われました。

今回のトークは行政への政策要望を直接的に取りまとめるのが目的ではなく、議会として、地域の課題に対する理解を深めることを目的として行われたものです。



▶▶▶ 活動グループの動き ▶▶▶

2.13 (木)、2月の活動は、冬野菜 + ひと足早い「春」の組み合わせ

－ 伊深ごはん研究会

伊深ごはん研究会 (井上美恵子代表) は、2.13 (木)、別所公民館で2月の調理活動を行い、10名の参加がありました。今回は「ひじきご飯」「白菜のスープ」「大根の味噌煮」「豆腐の白和え」のほか、各人が持ち寄った10種以上のメニューが手際よくテーブルに並べられました。

参加者たちは、昔、伊深ではお葬式のお齋 (お

とき) にひじきご飯を出すところがあったという話もしながら、楽しく作り味わっていました。

試食タイムには、ひと足早く春を告げる「桜茶」も供され、淡い色合いが参加者の目を楽しませてくれました。また、パリパリと漬物を食べる音で大合奏となり、互いに顔を見合わせて、健康で食べられるありがたみをかみしめていました。



2.8 (土)、伊深小で「ふるさと学習発表会」が行われました

2.8 (土)、伊深小学校で「ふるさと伊深の里学習発表会」が行われ、全学年が伊深にまつわるテーマで学習の成果を発表しました。

- 1年生 伊深だいすき
- 2年生 伊深の町たんけん
- 3年生 伊深の町めぐり
- 4年生 伊深の環境
- 5年生 伊深の知恵
- 6年生 伊深のまちづくり

各学年とも、タブレットなど同小が誇る ICT 機器を活用し、内容的にもふるさと伊深の宝物をさまざまな切り口で見つけ出そうと努力した成

果があふれる、すばらしい発表でした。

また、発表会に先立ち、児童と参加者たちが教室でかるた取りなどを行う「ふれあいタイム」も行われ、年代を超えた交流の時間を楽しみました。



▲6年生の発表

参加者募集 !!

多数ご参加ください。

まちカツ発表会

: 市内各まち協の活動発表会

- 主催: 市まちづくり課
- とき: **3月11日(水)** 19:30~21:00
- ところ: 市生涯学習センター201 集会室
- 内容: 三和、山之上、伊深、加茂野町、下米田の各まち協がそれぞれ地域の魅力づくりのために取り組んでいる活動を発表します。伊深は3番目、「小さな手助け『ちょっとたのむ輪』」を中心に発表を行います。
- 参加資格: どなたでも

標柱スタンプラリー 桜ウォーク

▶ 桜満開?の春の伊深を楽しく歩きます。途中お楽しみが盛りだくさんです。

- 主催: 当協議会・伊深体育振興会
- とき: **4月5日(日)** 9:00~ 雨天中止
- ところ: 伊深交流センター前集合
- コース: ①牛牧の桜コース (4.5km) ②関也の桜コース (1.7km)
- 内容: 伊深交流センターを起点に、①または①+②のコースを歩きます。
 - ・スタンプラリー 標柱付近にあるスタンプを押すと数に応じて輪投げができ、おもちゃがもらえます。
 - ・参加者全員にはずれなしの抽選があります。
 - ・歩いたあとには「ぶたこ」(よもぎ餅)のふるまいがあります。
- 参加費: 中学生以上 100円、小学生 50円(保険代含む)、以下無料
- 申込先: 伊深連絡所 ☎0574-29-1395 ibuka-ren@city.minokamo.lg.jp



2.16 (日)、町外研修会でマチカフェ運営を研修しました

—高齢者の“やりがい”をエネルギーにして活動



当協議会は2.16(日)、名古屋市北区福德町で、ふれあいカフェ「ふく・トーク」を運営しているグループの活動を視察研修し、まち協委員を含め20人の参加がありました。

これは地元の高齢者らが気軽におしゃべりで

きる場所を提供しようと、デイサービス施設の空き時間を利用して、月1回開かれているもので、60代、70代の女性3名



が無償で運営に当たっています。カフェでは年に数回、津軽三味線演奏会などのイベントを開いているほか、「ふれあい通信」紙の発行、地元の社協や老人会とタイアップした活動など、特色ある運営がなされており、参加者たちは少しでも伊深の参考にしようと、いくつかの質問を投げかけ、和気あいの雰囲気の中で交流ができました。

2月定例会(2.19(水))のあらまし

●協議:

1. まちカツ発表会について 3.11(水)に市主催で行われる発表会について、当協議会の発表内容の確認などを行った。
2. 「伊深巡り」について 4.5(日)に実施する「標柱スタンプラリー 桜ウォーク」について、最終的な確認を行った。

●その他:

- 凧あげ大会、未来トーク、町外研修会など、月内に実施した行事のまとめを行った。



啓蟄

関市で行われた地域学習会に伊深まち協が、本市を代表して参加

2.23(日)、関市で開かれた地域コミュニティ活動学習会に、県内5地域から特色ある活動を行っている団体が招かれ、発表・交流会が行われました。本市からは伊深まち協の堀畑副会長が参加し、小さな手助け「ちよっとたのむ輪」の活動を紹介しました。



伊深まちづくり協議会だより 第79号

2020.3.1発行(毎月1回1日発行)

発行責任者 伊深まちづくり協議会 会長 小林 喜典

事務局 美濃加茂市伊深町909

伊深交流センター内

電話 0574-29-1395 FAX 0574-29-0001

※ ご意見・お問い合わせもこちらまで

